

進化する液晶テレビ技術

Evolving LCD TV Technologies

巻頭言

液晶テレビ “レグザ (REGZA™)” の進化

Evolution of REGZA™ High-Definition LCD TV

“レグザ (REGZA™)”は、東芝が2006年3月からグローバルに展開しているデジタルハイビジョン液晶テレビ (TV) の新ブランドです。REGZA™は“Real Expression Guaranteed by amaZing Architecture”を意味し、“お客さまに卓越感、本質感、及び高質感を提供する”というコンセプトのもと、高画質と使いやすい機能に重点をおいて開発を進めています。特に、REGZA™の高画質を支える“メタブレイン™ (Meta Brain™)”は、当社が長年にわたり培ってきた映像の高画質化技術の粋を集めた映像エンジンで、市場から高い評価を得ています。

当社は、高画質をベースにREGZA™のラインアップを充実させ、グローバルに展開しています。特に国内では、Z、H、及びCの特徴ある3シリーズを市場に投入しています。Zシリーズは、最高画質に加え、インターネット接続や外付けハードディスク装置 (HDD) を利用した録画など、最新機能を装備したフルHD (High Definition) ネットワークモデルです。Hシリーズは、内蔵したHDDに番組を録 (と) りためて好きな時間に見るなど、新しい視聴スタイルを提案するレコーディングモデルです。Cシリーズは、TVの基本性能である受信機能を充実させ、使いやすい機能を満載した高画質シンプルモデルです。

デジタル技術の進歩により、ハイビジョン放送などの高画質番組やインターネットを利用した豊富なコンテンツの視聴、また、REGZA™と接続した周辺機器を連携させTVリモコンで操作できる“レグザリンク™”など、便利で魅力的な機能を実現できるようになりました。同時に、デジタル技術の進歩は液晶TVのコモディティ化を促進しており、適切な価格で提供できるようになりました。今後、アナログ放送の終息がグローバルに予定されており、TVのデジタル化はいつそう進むと思われれます。

この特集では、グローバル展開の核となるREGZA™の高画質化技術、ネットワーク技術、及び将来に向けて開発中のTV技術についてご紹介します。

当社は、今後も最先端のデジタル技術を駆使し、お客さまにとって魅力ある製品を提供できるように開発を進めていきます。



徳光 重則
TOKUMITSU Shigenori